

令和 7 年度

函館白百合学園中学校

一般入学試験問題（後期日程）

国語

令和 7 年 2 月 2 日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は 4 5 分です。
2. 問題は□から□まであり， 1 4 ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し，解答用紙だけ提出しなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問1 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① モンゲンは六時だ。
- ② カチがある石。
- ③ サッカー部員をインソツする。
- ④ 大統領をシジする。
- ⑤ キョウシになりたい。
- ⑥ 本をカし出す。

問2 次の――線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ① ココロヨク引き受ける。
- ② 教えをサズカル。
- ③ 仕事をマカセル。
- ④ 夢をハグクム。

問3 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 定規とコンパスを使う。
- ② 最寄りの駅に行く。
- ③ 非力な人。
- ④ 不燃ごみを回収する。
- ⑤ 父は貿易商だ。
- ⑥ 眠りから覚める。

問4 次は対義語の組み合わせである。後のカタカナを一度だけ使って漢字に直し、□に入れて対義語を完成させなさい。

① 不作↑↓□作

② 集合↑↓解□

③ 活動↑↓休□

④ 需要↑↓□給

キヨウ

ヨウ

サン

ホウ

問5 次の①～③の熟語の構成の説明として適切なものを、ア～エから選りなさい。

① 再会

② 防犯

③ 新旧

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。

イ 反対や対になる漢字を重ねたもの。

ウ 上の字が下の字を説明するもの。

エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。

問6 次の漢字の部首を、ア～エから選びなさい。

# 点

ア まだれ      イ りつとう      ウ れんが（れつか）      エ ごんべん

問7 次の□に当てはまる漢数字を一字入れ、四字熟語を完成させなさい。

- ① □束□文      ② □中□九      ③ □日□秋      ④ □石□鳥

問8 次の意味に当てはまる慣用句を、ア～オから選びなさい。

- ① 元々の性質を隠して、人前ではおとなしそうにふるまうこと。  
② 一生懸命に働くこと。

ア 火の車      イ 猫をかぶる      ウ 猫の額      エ 額に汗する      オ 火に油を注ぐ

二 次の文章の中の言葉に関する問いに答えなさい。

雑草は、「雑」な「草」と書く。

それでは、「雑」とは、どのような意味があるのだろうか。

一旦、本を①トじて、「雑」とつく言葉を思いつくだけ、②アげてみることにしよう。

さて、「雑」とつく言葉には、どのようなものがあつただろうか。

「雑多、雑然、煩雑、繁雑、乱雑、1混雑、大雑把……」など、雑とつく言葉には、2いい加減だというイメージの言葉もある。

あるいは、「雑誌、雑貨、雑談、雑学、雑用……」といった言葉もある。これは、取り立てて特別というわけではないけれど、

3他□もないたくさんのもがあるというイメージだろうか。

「雑煮、雑炊、雑食」という言葉には、「4色々なもの」という意味があるかもしれない。そういえば、「5複雑」という言葉は、「雑」が複数あると書く。

あるいは、「雑1収入」「雑種地」という言葉もある。これは、選択肢の中に含まれない「その他」という意味だろう。

こうして見てみると、「雑」という言葉には、「主要なものではないけれど、たくさんものもの」というニュアンスがありそうだ。つまり、「雑」という字のイメージからすると、「雑草」も、「主要ではないけれど、たくさんある草」という意味になるだろうか。

雑草というと、畑や庭の邪魔ものというような悪い草のイメージが強いが、そもそも「雑草」という言葉には、「悪い草」という意味はない。

そういえば、雑な魚と書く「雑魚」は小さな魚がたくさん③ムれていたり、雑な木と書く「雑木」はさまざまな種類の木があるイメージがあるが、悪い魚や悪い木ということではない。

6 「雑」の漢字の部首は「隹」( )である。その名のとおり、これは、鳥を表している。たとえば、「隹」が「木」の上にいれば、となる。

「雑」という漢字はもともとは「雑」と書き、「集」に「衣」を加えた漢字である。「衣」というのは、**2** 布を意味している。布を染めるときに、さまざまな草木を染色に使うと一色に染まらず、色々な色の布ができた。これが「雑」である。つまり、「たくさん」の色が集まってまじる」というのが、「雑」の④ユライなのである。

中国の⑤レキシあるサーカス団は「雑伎団」と呼ばれるが、雑伎団はけっして技が粗雑そざつだったり、低級なわけではない。多彩たさいな技を持つているから「雑伎団」とよばれているのである。

ときどき、アスファルトの割れ目にこぼれた種から芽を出したダイコンが、「⑥コンジヨウダイコン」と呼ばれて、テレビや新聞で⑦ワダイになることがある。

この道ばたに生えたダイコンは、雑草なのだろうか。それとも雑草ではないのだろうか。

あるいは、学校⑧サイエンで栽培さいばいしていたジャガイモが残っていると、その後、花を植えて花壇かたんにしたときに、花の中からジャガイモが生えてしまうことがある。この花壇のジャガイモは雑草なのだろうか。それとも雑草ではないのだろうか。

※設問の都合上、一部表記を改めました。

〈「雑草はなぜそこに生えているのか」 稲川 栄洋〉

問1 線①～⑧のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 線2「いい加減だ」と、ほぼ同じ意味となる慣用句が完成するように次の

AをB

B

A ア目 イ耳 ウ手 エ足

B アはなす イぬく ウすます エあらう

問3 線3「他□もない」の□に入る一字としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 愛 イ 心 ウ 我 エ 言

問4 線4「色々なもの」について述べた次の文章の中の（ア）～（エ）に入る適当な漢数字を答えなさい。

ここでの「色々なもの」は「多種多様なもの」と言い換えることができる。「多種多様」と同じような意味の四字熟語として「（ア）差（イ）別」があげられる。「実にさまざまな違いがあって決して一様ではない」という意味である。ほぼ同じ意味で、特に人を対象として用いる四字熟語は「（ウ）人（エ）色」である。

問5 ——— 線1「混雑」、 ——— 線5「複雑」と反対の意味となる語について

①「混雑」は「混んでいる」状態であるが、「混んでいる」と反対の意味となる語は次の通りである。( )に入る漢字一字を答えなさい。

( ) いている

②「複雑」の反対の意味となる二字熟語を答えなさい。

問6 1 収 2 布 の二画目をぬりつぶしなさい。

問7 ——— 線6『雑』の漢字の部首は『佳』( )『である』について

①( )に入る、漢字の部首「佳」の読みを、ア～エから選びなさい。

ア おおとり イ ことり ウ ふるとり エ あやとり

②「佳」は、漢字の部首の分類では「つくり」にあたる。漢字の部首が「つくり」ではないものを、ア～エから選びなさい。

ア 印 イ 頭 ウ 歌 エ 校

問8 ( )に入る言葉としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア おしえる イ あつまる ウ すすむ エ はなれる

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

すべての生物はナンバー1である。そして、ナンバー1になれる場所を持っている。この場所はオンリー1である。つまり、すべての生物はナンバー1であると同時に、オンリー1なのである。

このナンバー1になれるオンリー1の場所を生態学では、「ニッチ」という。ニッチはそれぞれの生物が固有に持つものである。ニッチは場所の場合もあるし、餌の場合もあるし、環境の場合もある。「ニッチ」とは、1、装飾品を飾るために寺院などの壁面に設けたくぼみを意味している。2それが転じて、生物学の分野で「ある生物種が生息する範囲の環境」を指す言葉として使われるようになった。生物学では、ニッチは「生態的地位」と訳されている。一つのくぼみに、一つの装飾品しか飾ることができないように、1一つのニッチには一つの生物種しか住むことができない。

マーケティングではニッチ戦略というと、小さな隙間のような意味として使われるが、生物にとっては3隙間を意味する言葉ではない。すべての生物が自分だけのニッチを持っている。大きいニッチもあれば、小さいニッチもあるが、ジグソーパズルのピースがぴったりと組み合わせるように、生物はニッチを分け合っている。4ニッチが重なれば、重なったところでは激しい競争が残り、どちらか一種だけが生き残る。（中略）

雑草は、競争を避けて\*攪乱のあるところに生えるというのが、生存戦略だ。しかし、雑草の中にもさまざまな種類がある。植物は集まって生えているので、どのようにニッチを分け合っているのかわかりにくいが無秩序に生えているように見える草むらであっても、植物がニッチを分け合っていると考えられている。

勘違いしてはいけないのは、オンリー1のナンバー1を目指すという先述の話は、「生物の種」の話ということである。たとえば、私

私たちは人間という種であり、おそらくは知能を発達させて自然を都合よく作り変えるというオンリー1でナンバー1の種ということになるのだろう。

私たち一人一人は、生物種の中の「個体」だから、種という集団の中で、必ずしもニッチを棲み分けなければならないということではない。

しかし、ナンバー1になれるオンリー1を探すという生物の世界の営みは、生きづらい人間の現代社会を生き抜くのに、とても役に立つ考え方であるように思う。

(中略)

雑草の世界を見てほしい。小さいものも大きいものもある。早く芽を出すものも、遅く芽を出すものもある。雑草にとって大切なのは、それぞれが「違う」ということで、どれが優れていてどれが劣っているということではない。「個性」には平均的な個体もなければ、平均以下という言葉もないのだ。【あ】

あるいは私たちは、よく「普通」という言葉を使う。しかし、「普通」とは何だろう。平均値が普通なのだとしたら、「普通」というものは、存在しない。<sup>2</sup>「普通」というのは幻の存在なのだ。

人間の世界では、「普通」というのは、「こうあるべき」という存在だったりする。人間の思う「こうあるべき」の凝り固まった塊が「普通」である。

しかし、雑草は、「こうあるべき」でないとところで勝負して、成功しているのである。

あなたが、ナンバー1になれることは何だろうか。【い】

これを見つけることは簡単ではないかも知れない。しかし、あなたがナンバー1になれる簡単な方法がある。

もつとも簡単にナンバー1になれる種目は、「あなたらしさ」である。

【う】 そうだとすれば、「あなたらしさ」を磨き、<sup>みが</sup>「あなたらしさ」を高めることが、ナンバー1になるもつとも近道ということになる。

もつともやつてはいけないことは人と比較<sup>ひかく</sup>することだ。誰かを目指している限り、あなたはナンバー1になれることはないのだ。

【え】 誰しも得意なことはある。努力しなくても、簡単にできてしまうこともあるし、努力してもなかなかできないこともある。努力しなくても、できてしまうことを徹底的<sup>てつてい</sup>に努力するというのも、ナンバー1になる一つの方法だろう。

皮肉なことに、好きでもないのになぜかできてしまうことと、好きなのになかなかできずに苦手なことというのもある。できれば、好きなことを選びたい。あるいは、得意なことなのに、絶対に勝てそうにないライバルがいることもある。

そんなとき参考になるのが、生物の「ニッチシフト」だ。

ナンバー1になれるオンリー1の場所がニッチである。それは、自分の得意なことや、好きなことになる。そこで、少しずつずらしながら、その周辺で自分のニッチを探すのだ。好きなのに苦手なことは、少しずつせば、得意なことになるかも知れない。得意なのに好きでもないことは、少しずつせば、好きなことになるかも知れない。

「ずらしてみる」というのは<sup>3</sup>生物にとって、重要な戦略である。

すべての生物は、そうやつてずらしながら、ナンバーワンになれるニッチを求めているのである。

※設問の都合上、一部表記を改めました。

〈「雑草はなぜそこに生えているのか」 稲川 栄洋〉

\*攪乱……生態系のバランスを崩した状態。

問1 1 } 4 に入る語の組み合わせとして適当なものを、ア～エから選びなさい。

|   |                                                               |                                                               |                                                               |                                                               |
|---|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|   | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> |
| ア | 仮に                                                            | 単に                                                            | やがて                                                           | もともとは                                                         |
| イ | やがて                                                           | 仮に                                                            | もともとは                                                         | 単に                                                            |
| ウ | 単に                                                            | もともとは                                                         | 仮に                                                            | やがて                                                           |
| エ | もともとは                                                         | やがて                                                           | 単に                                                            | 仮に                                                            |

問2 — 線1 「一つのニッチには一つの生物種しか住むことができない」について

① 「ニッチ」とはどういうものか。次の表現の後に続くように — 線1より前の本文中から十七字で書きぬきなさい。

それぞれの生物が固有に持つ（十七字）。

② 人間という「生物種」にしかない「ニッチ」はどういうものか。次の表現に続くように、本文中から二十字で書きぬきなさい。

（二十字）というニッチ。

問3 ―― 線2「『普通』というのは幻の存在なのだ」を説明した次の文章の（ ）に入る語句を、本文中から指定の字数でそれぞれ書きぬきなさい。

人間の世界では、「普通」というのは、（ア 二字）値であったり、「（イ 六字）」という存在だったりする。雑草にとっては、それぞれが「（ウ 二字）」ということが大切で、どれが優れていてどれが劣っているということではない。つまり、雑草にとっては、（ア ）的な個体もなければ、（ア ）以下もない。また、雑草は「（イ ）」でないところで生きぬくことに（エ 二字）している存在でもある。ここから考えると、私たちがよく使う「普通」というものは、雑草にはない、「幻の存在」だと言える。

問4 本文中の【あ】と【え】のいずれかに次の一文が入る。もっとも適当なものを、あ／えから選びなさい。

「あなたらしさ」という種目で、あなたにかなう人はいない。

問5 ―― 線3「生物にとって、重要な戦略である」とあるが、どうすることが生物にとって生きていくための「重要な戦略」となるのかを説明した次の文章の（ ）に入る語句を、本文中から指定の字数でそれぞれ書きぬきなさい。

ニッチが重なれば、重なったところでは激しい（ア 二字）が起き、どちらか一種だけが生き残ることになるのが、生物の世界の決まりである。そこで、雑草は、（ア ）を避けて生える。生物がニッチを分け合って共存していくためには、他の生物とは違うことを求めること、つまり、他の生物の生き方から「（イ 六字）」ことが生きていくうえで「重要な戦略」なのである。

問6 本文で述べられている内容について生徒A～Dが話をしている。本文の内容として合わないものを、A～Dから一つ答えなさい。

生徒A…生物にとって「ニッチ」を分け合うことで限られた環境の中で共存することができるのだから、たくさんの「ニッチ」がこの世には存在するんだね。

生徒B…そうだね。すべての生物が自分だけの「ニッチ」を持っているんだ。「ニッチ」が重ならないように棲み分けていくことが生物にとって大切なんだと思う。

生徒C…それじゃあ、人間にとっての「ニッチ」ってなんだろう。自分にとっての「ニッチ」を探すためには、人間ならば、人と自分を比べたり、誰かを目指していいこうとすると「ニッチ」はうまく見つからないものだって筆者は言ってるね。

生徒D…そうだね。だからこそ、自分の得意なことや好きなことが必ず自分の個性を示す、誰もまねできない「ニッチ」になるんだから、「ニッチ」を持つためには「好きこそものの上手なれ」って言葉を意識するといいんだね。

国語

解答用紙

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 名前   |  |

一

問 1

①

モツゲン

②

カチ

③

イソソシ

④

シシ

⑤

キヨウシ

⑥

カ

し出す

問 2

①

②

③

④

問 3

①

②

③

④

⑤

⑥

める

問 4

①

作

②

解

③

休

④

給

問 5

①

②

③

問 6

問 7

①

東

文

②

中

九

③

日

秋

④

石

鳥

(完全解答)

問 8

①

②

二

問 1

①

ト

じ

②

ア

げ

③

ム

れ

④

コロイ

⑤

シギシ

⑥

コンジヨウ

⑦

ウタイ

⑧

サイエシ

問 2

A

B

問 3

問 4

ア

イ

ウ

エ

(アウイウエで完全解答)

問 5

①

いて

いる

②

問 6

1

収

2

布

問 7

①

②

問 8

三

問 1

問 2

①

②

問 3

ア

イ

ウ

エ

問 4

問 5

ア

イ

問 6

国語

解答用紙

|      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |
| 名前   |  |  |  |

一

問 1

①

門限<sup>モンゲン</sup>

②

価値<sup>カチ</sup>

③

引率<sup>インソツ</sup>

④

支持<sup>シジ</sup>

⑤

教師<sup>キョウシ</sup>

⑥

貸し出す<sup>カ</sup>

問 2

①

快く

②

授かる

③

任せる

④

育む

問 3

①

じょうぎ

②

もよ　り

③

ひりき

④

ふねん

⑤

ぼうえき

⑥

さ　める

問 4

①

豊作

②

解散

③

休養

④

供給

問 5

①

ウ

②

エ

③

イ

問 6

ウ

問 7

①

二束三文

②

十中八九

③

一日千秋

④

一石二鳥

問 8

①

イ

②

エ

各①

(完全解答)

30

二

問 1

①

閉じ<sup>ト</sup>

②

拳げ<sup>ア</sup>

③

群れ<sup>ム</sup>

④

由来<sup>ユライ</sup>

⑤

歴史<sup>シキシ</sup>

⑥

根性<sup>コンジヨウ</sup>

⑦

話題<sup>ワダイ</sup>

⑧

菜園<sup>サイエン</sup>

問 2

A

ウ

B

イ

各①

問 3

A

②

問 4

A

千

イ

万

ウ

十

エ

十

各②

(入試や入試模範解答)

問 5

①

空

②

空

③

空

④

空

⑤

空

⑥

空

⑦

空

⑧

空

問 6

①

収

②

収

③

収

④

収

⑤

収

⑥

収

⑦

収

⑧

収

問 7

①

ウ

②

エ

各②

問 8

①

イ

②

イ

各②

各①

各②

30

三

問 1

①

エ

②

エ

③

エ

④

エ

⑤

エ

⑥

エ

⑦

エ

⑧

エ

問 2

①

ナンバー1になれるオンリー1の場所

②

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

③

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

④

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

⑤

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

⑥

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

⑦

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

⑧

知能を発達させて自然を都合よく作り変える

問 3

A

平均

B

こうあるべき

C

違う

D

成功

各③

問 4

①

う

②

う

③

う

④

う

⑤

う

⑥

う

⑦

う

⑧

う

問 5

A

競争

B

競争

C

競争

D

競争

各③

問 6

①

D

②

D

③

D

④

D

⑤

D

⑥

D

⑦

D

⑧

D

40